

とおかまち



親子で楽しく、ちまきづくり

8月6日(金)、うぶすなの家(願入)で、大地の祭りイベント「ちまき祭り」が行われました。祭りでは地域のおかあさんたちが講師となり、地元棚田産のもち米でちまきを作り、織部のかまどで豪快にゆで上げました。参加者たちは顔に汗して、ちまきづくりを楽しんでいました。

主な内容

- 大地の祭り2010夏レポート 2-3
- 定期予防接種 / 里山センター活動紹介 4-5
- 協働のまちづくりモデル事業紹介 6-7
- 市民水泳大会結果 / 公民館成人講座 ほか 8-9
- 米粉のレシピ集 / はたログ ほか 10-11
- 地域の風 ~ 支所からのたより ~ 12-13
- きらめき青春 / お~い!昔 ほか 14-15
- まちの話題TOPICS 16-17
- お知らせ・ガイド 18-23
- この時 熱中・夢中 24

現在開催中!

「越後妻有 大地の祭り2010夏」レポート



猛暑続きの今年の夏を楽しく演出する「越後妻有 大地の祭り2010夏」は、8月31日(火)まで開催しています。好評のうちに終了したイベントの一部を皆さんに紹介します。会期は残すところあとわずか。このレポートを読み終えたら、大地の祭りへGO!

■問合せ：観光交流課芸術祭企画係
☎ 757-2637

みんなの芸術祭
地域おもてなし事業

こんばすの会 「ふれ愛交流」
8月の土・日曜日：こんばすの森

きものの集いの会 「七夕茶席」
8月7日(土)・8日(日)：キナーレ



陽気な人が集まり、来訪者との交流を大事にするこんばすの会では、農業体験や自然体験ができる「雪ふる里村」に取り組んでいます。そのほか、夏野菜の話など首都圏からの来訪者に、この場所ならではの貴重な話を提供することで、交流を楽しんでいます。



きものを着た女性による抹茶とお菓子のおもてなしが行われました。七夕の飾りや朱傘などが作り出す和の雰囲気と冷たい抹茶のサービスは、夏の暑さを忘れさせてくれました。作品巡りに疲れた人や、暑い中走り回った子どもたちに好評のおもてなしでした。

こへびインフォメーション誕生

作品制作や受付などで芸術祭を支えている、大地の芸術祭サポートグループ「こへび隊」。大地の祭りを盛り上げていこうと、キナーレに「こへびインフォメーション」を設置しました。第5回展へ向けて、こへび隊が今まで以上に心強い存在へとなっています。



人形浄瑠璃ヌーベルバーグ
8月7日(土)：まつだい「農舞台」



沖縄民謡歌手の古謝美佐子さんと、文楽人形遣いの吉田勘緑さんによる唄と人形による公演。吉田さんは2003年から毎年夏に松代で、ほかの分野のアーティストと競演しています。今年は沖縄民謡との競演でした。伸びやかな古謝さんの歌声と沖縄民謡の独特のメロディに合わせて舞う人形に、来場者が見入っていました。感動的な舞台に大盛り上がりでした。

うぶすなの家 ちまき祭り
8月6日(金)：うぶすなの家



地域の女衆が切り盛りする「うぶすなの家」。今年は、ちまきづくりに初挑戦しました。笹の葉とイグサを使ってもち米を包む作業は、ちよっとしたコツが必要。子どもたちは作り方を教わり、苦戦しながらもおもしろそうなたまきを作りました。織部焼のかまど(大地の芸術祭作品・鈴木五郎作)から立ち昇る湯気からは、笹の葉の良い香りが漂いました。

あと数日!
大地の祭りイベント情報

8月31日(火)まで開催される大地の祭りのイベント情報をお知らせします。お得な地元パスも販売中です。
※イベントは予告なく変更や中止する場合があります

日 時	イベント	会 場	作家・出演者
~31日(火) 午前10時~午後5時	「オオカミのおうさま」原画展	絵本と木の実の美術館(鉢)	田島征三
	線描の悦び	田野倉の家(田野倉)	内田あぐり
	ダブル・イメージ	浦田地区克雪管理センター	モード・パース
	円環-命脈	北浦田	石田泰道
	「伊沢和紙を育てる」展示	池之窪の家(犬伏)	中村敬
~31日(火) 午前10時30分~11時30分(水曜定休)	JAAMプロジェクト展示	オーストラリアハウス(浦田)	日・豪の学生
~31日(火)の平日/時間要相談	ベリージャムをつくろう	ベリー・スプーン(ナカゴグリーンパーク)	-
27日(金) 午後1時30分~	想ひ出写真館プロジェクト	希望者の思い出のある場所	倉谷拓朴
28日(土) 午前10時~午後10時	チェンジ ザ ワールド	浦田地区克雪管理センター	日・豪の学生
28日(土) 午前11時30分~	原始未来レイヴ2010	節黒城跡キャンプ場(川西)	関口恒男
28日(土) 午後2時~4時	水沢地区伝統芸能×生意気	まつだい「農舞台」	生意気
28日(土)・29日(日) 午前10時~午後4時	JAAMプロジェクト講評会	オーストラリアハウス(浦田)	野田裕示、アン・グラハム、塩田純一、福永治
28日(土)・29日(日) 午前10時~午後5時	里山アートハイキング	まつだい「農舞台」周辺	-
29日(日) 午前7時~午後5時	遺影撮影ワークショップ	名ヶ山写真館(名ヶ山)	倉谷拓朴
31日(火) 午後8時~	ツールド妻有2010	市内全域	-
	蒲生 前夜祭	蒲生松茸神社(蒲生)	早稲田大学

8月31日(火)で大地の祭りは閉幕しますが、一部作品は10月末まで土・日曜日、祝日を中心に公開しています。作品巡りに便利な「越後妻有のりおりパス」も利用できます。ぜひ活用して、秋も作品鑑賞をお楽しみください。



8月9日(月)、市内小・中学生とその保護者が参加できるツアーを実施しました。ツアーバスも、作品鑑賞中も、とにかく元気いっぱいの子供たち。体験できる作品や作品スタンプには、われ先にと子どもたちの列ができました。特に、まつだい「農舞台」の獅子舞の頭を身にまとう体験や黒板の教室の落書き、絵本と木の実の美術館の太鼓をたたく自転車こぎは大人気。夏休みの楽しい思い出となりました。

わいわい楽しく♪
小・中学生無料ツアー



地域住民との話し合い

● **高齢化対策支援**
 里山センターでは、行政や社会福祉協議会、民生委員児童委員などと協力しながら、高齢者の見守りや、冬の間に集落内で共同生活ができる冬期高齢者集合住宅の検討などについて、住民との話し合いをしています。また、都市部から市内各地に移り住んだ15人の地域おこし協力隊とも連携し、情報交換をしながら支援のあり方を相談しています。高齢者の買い物代

● **農村の活性化支援**
 あげの除草作業の軽減や景観保持、除草剤を使わない環境にやさしい米づくりを目指して、ヒメイ



ヒメイワダレソウの植栽試験

市内には、全体で435の集落があります。このうち、65歳以上の高齢者が人口の半数を超える高齢化集落は、平成20年度の51集落から平成22年度は53集落に増加し、今後ますます増えることが予想されます。高齢化が進むと集落機能が低下し、祭礼などの年中行事や、道普請・堰普請ができなくなったり、農業の担い手不足による耕作放棄地が増加したりします。また、冬の除雪や通院・買い物など、集落の地域資源の管理や高齢者の生活にも直接影響がでてきます。
 このような高齢化集落の多岐にわたる問題に対し、十日町市里山センターでは地域住民と協力しながら、次のような活動を展開しています。

● **地域コミュニティの再建・活性化支援**



先導事業の実施状況

行や通院の付き添い、除雪、草刈りなど、隊員の活動について集落の要望を聞き、行政との調整をしています。

ワダレソウやティフブレア（改良芝の一種）の実証試験を実施しています。また、耕作放棄地対策として、休耕田を利用した特産農産物化を目指してサルナシの試験栽培も始めています。



都市住民のそば打ち体験

（財）山の暮らし再生機構
十日町市里山センター
 —活動を紹介します—
 〒948-8501
 十日町市千歳町3-3
 十日町市役所内
 ☎750-5260
 FAX750-5261

乳幼児・学童・生徒の定期予防接種

● 問合せ：健康支援課母子保健係 ☎ 757-9759

● **ポリオ予防接種（秋期）を「集団接種」で実施します**

【会場】 十日町保健センター（市役所隣）
 【受付時間】 午後2時～2時45分（2時30分接種開始）
 【対象年齢】 生後3か月以上7歳6か月未満
 【接種費用】 無料

実施日	9月27日(月)	10月1日(金)	10月6日(水)	10月8日(金)
対象地区	川六川 治箇西	十日町	中吉中 条田里	下条 水沢 松代 松之山

※事前の予約は必要ありません

※お子さんの体調などにより指定日以外でも接種は受けられますが、できるだけ指定日を守ってください

【持参するもの】 母子健康手帳（忘れると接種できません）、予診票、体温計、筆記用具

【集団接種を受けるときの注意点】

- ・ 出生後にお渡しした「予防接種と子どもの健康（小冊子）」を必ず読んでください。
- ・ 対象年齢や、ほかの予防接種との間隔に注意してください。ポリオ予防接種後4週間は、ほかの予防接種は受けられません。BCG予防接種と接種時期が重なる場合は、BCG予防接種を先に受けましょう。
- ・ ポリオ予防接種は、お子さんが次の①～③に該当する場合は接種を見合わせています。ご注意ください。

- ①下痢をしている場合
- ②ひきつけ（けいれん）を起こしてから1年未満の場合（ただし、6か月を経過して、かかりつけ医の許可があれば接種できます）
- ③病気が治ってから、右表の間隔があいていない場合

病名	接種できるまでの間隔
麻しん(はしか)、風しん、水痘(水ぼうそう)、おたふくかぜ、百日せき、インフルエンザ	治ってから4週間
突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑、とびひ、感染性腸炎	治ってから2週間
かぜ	発熱などの急性期の症状が治まってから1週間
その他	治ってからおおむね2週間(かかりつけ医の許可をもらいましょう)

※これは集団接種の場合の注意点です。個別接種の場合は、かかりつけ医に相談しましょう

● **3歳になったら日本脳炎予防接種を受けましょう**

平成22年4月から、日本脳炎予防接種第1期の積極的な勧奨を再開しました。平成22年度は、第1期の標準的な接種年齢である3歳のお子さんが接種勧奨の対象となります。

日本脳炎予防接種は、個別接種協力医療機関での接種となります。医療機関へ事前に予約して接種を受けてください。

【第1期の対象年齢外の子どもは？】

平成17年以降の勧奨差し控えによって接種機会を逃した人、及び第2期対象者（9歳以上13歳未満）は、現段階では定期予防接種ができません。厚生労働省で対応を検討中ですので、今後の方針が決まり次第お知らせします。

	接種間隔	接種回数
第1期初回	6～28日	2回
第1期追加	第1期初回終了後 おおむね1年後	1回

● **次の予防接種は、医療機関で接種を受ける「個別接種」で実施しています**

【個別接種を受けるときの注意点】

事前に予約が必要です。個別接種協力医療機関に直接予約して接種を受けてください。

※日本脳炎第2期は、現在使用可能なワクチンがないため接種できません

予防接種の種類	対象年齢	会場
BCG	生後6か月未満	個別接種 協力医療機関
三種混合第1期	生後3か月以上7歳6か月未満	
二種混合第2期	11歳以上13歳未満	
日本脳炎第1期	生後6か月以上7歳6か月未満	
麻しん 風しん	第1期	1歳以上2歳未満
	第2期	小学校就学の前年度（1年間）
	第3期	中学1年生相当年齢（1年間）
	第4期	高校3年生相当年齢（1年間）

協働のまちづくりモデル事業の取り組みを紹介します

協働のまちづくりモデル事業が、本年度も本格的に始まっています。昨年の取り組みで出てきた課題を整理し、パワーアップして進んでいます。今年の取り組みを一部紹介します。

■問合せ：企画政策課協働推進係 ☎ 757-3693

■みんなの芸術祭・地域おもてなし事業「大地の宵（良・よい・酔）祭り！」盛大に盛り上がる！
3年に一度の大地の芸術祭。今年度は開催年ではありませんが、「越後妻有大地の祭り 2010夏」が、8月末まで開催されています。「大地の宵（良・よい・酔）祭り」は、その前夜祭という意味も込めて、7月31日（土）、キナーレを会場



大地の宵祭り：巨大パエリアで盛り上がりました

に開催されました。この宵祭りは、協働のまちづくりモデル事業「みんなの芸術祭・地域おもてなし事業」の参加者の意見を基に催されました。大地の芸術祭の開会式は、アーティストや来賓など多くの人が出席します。また、開催日前後はアーティストとオープニングパーティーをする集落もあります。しかし、市民同士がいっしょになつて連携して一堂に集まる機会はほとんどありませんでした。そこで今年度は、大地の祭りのために市民が開催前日に集まり、「明日から祭りを盛り上げよう！」と来訪者へのおもてなしを頑張ろう！という決起集会として企画。おもてなし事業の実施団体やこへび隊、そのほか芸術祭関係者や外国からの来賓など約70人が参加しました。当日は、おもてなし事業実施団体が今年の取り組み内容を発表し、団体同士の情報交換・意見交換を発売に行いました。また、参加者は市内各地域から集まったので、地域ごとの「天神ばやし」の歌合戦で盛り上がりたり、「十日町小唄」を全員で踊ったりして、気持ちを統一することで、翌日か



みんなで白倉の宝物を探します

今年から本格的に始まったこのモデル事業は、地域内の公園や広場などの活用を地域住民で考え実行し、地域活動や交流活動の活性化を目指すものです。現在、川西地域の白倉地区と松之山地域の中尾集落が取り組んでいます。

雪国安心わくわくプロジェクト

50代男性の参加者は、「この祭りをとおして、自分たちが実施するおもてなし事業でほかの団体との連携が生まれました。盛り上がるだけではなく、成果も生まれた良いお祭りでした」と感想を述べていました。



鏡ヶ池公園をみんなで大掃除

■白倉の安心元気づくりプロジェクト
白倉地区は、地区が持つ資源を生かし、「交流」を切り口として、文化と伝統の持続可能な仕組みと環境を作ることを目標にしています。本年度は事業のストーリーづくりと、実験事業の企画づくりを主眼に事業を実施しています。
■鏡ヶ池わくわく広場プロジェクト
中尾集落には、謡曲「松山鏡」で知られる「鏡ヶ池」や県指定天然記念物の「中尾の大杉」がありますが、人口減少と高齢化で集落の活力が低下しています。そこで、住民自らが、長い間培ってきた歴史や集落のシンボルとなっている集落内の文化遺産、住民の匠の技に目を向け、持続可能な集落づくりを目指しています。

この指と〜まれ！ 参加者募集のお知らせ

協働のまちづくりモデル事業

地域防災マップづくり

（自主防災組織個別活動支援）

自主防災組織の皆さん、今年の防災訓練は何をしようか迷っていませんか。毎年同じような訓練でマンネリ化していませんか。

市では、自主防災組織や町内に防災訓練の支援をします。自主防災コーディネーターの指導のもと、図上訓練DIG（地域の特徴を話し合い、マップ作りなどを行う訓練）などを行います。自主防災コーディネーターにかかわる費用は市が負担します。

◆募集数：5組程度

※訓練効果を高めるため、避難所単位や振興会単位・近隣自主防災組織との共同など、なるべく複数の組織での開催をご検討ください

◆申込み期限：9月10日（金）

※自主防災組織リーダー研修会では8月31日（火）までと案内していましたが、募集期間を延長します

◆申込み・問合せ

防災安全課 ☎ 757-3197

とおかまの棚田体感ツアー

市内には「にほんの里100選」に選定された松代・松之山地域のほか、各地域に棚田や沢田などのいわゆる「やま田」が数多くあります。

ところで、市外からのカメラマンや観光客を対象にした棚田を巡るツアーはありますが、十日町市民が参加するツアーはほとんど耳にしません。

そこで今回は、協働のまちづくりモデル事業「棚田プロジェクト」の一環で、「市民が市内の棚田を体感」するためのツアーを企画しました。棚田見学のほかにもネイチャーゲームなどをしながら棚田を満喫する内容となっていますので、奮ってご参加ください。



◆日時：9月12日（日） 午前8時30分～午後4時

※午前8時30分に市役所本庁集合

◆内容：棚田でのネイチャーゲーム（フィールドビンゴや写真撮影ゲーム）、飛渡地区の棚田見学ツアー、飛渡地区の手づくりごっつおの昼食

◆料金：大人800円、親子での参加は2人で1,000円（いずれも昼食代込み）

◆申込み・問合せ：企画政策課協働推進係

☎ 757-3693

秋季消防演習のお知らせ

地区名(分団名)	日時	会場
《十日町・川治・六箇地区》本部分団、第1・2・3・4・8分団	10月17日(日) 午後1時～	つまりっ子ひろば
《中条地区》第5・6・7分団	10月17日(日) 午後1時～	東小学校グラウンド
《吉田地区》第9・10分団	10月10日(日) 午後1時～	鏡島小学校グラウンド
《下条地区》第11分団	10月3日(日) 午後1時30分～	下条小学校グラウンド
《水沢地区》第12・13・14分団	9月12日(日) 午前8時～	馬場小学校グラウンド
川西方面隊	10月17日(日) 午後1時～	特別養護老人ホームあかね園駐車場
中里方面隊	9月19日(日) 午前8時～	中里グラウンド
松之山方面隊 ※市防災訓練に参加	10月24日(日) 午前9時～	松之山総合グラウンド

●問合せ 十日町地域消防本部 ☎757-0119

公民館成人講座

「ワード」スペシャリスト養成講座

技能の幅広さを証明したい人やビジネスパーソンを対象とした、「マイクロソフト合格認定証」の資格取得を目的とする講座です。

◆受講日時

9月24日(金)～11月12日(金)の毎週金曜日 (計8回) 午後7時～9時

◆受講料

6,000円 (テキスト代2,100円が別途必要)

◆定員

15人 ※10人未満の場合は中止

◆講師

山内直道さん (マイクロソフトオフィシャルトレーナー)

◆会場・申込み・問合せ

9月10日(金)までに、申込書 (問合せ先に配置) に受講料を添えて中央公民館 ☎757-5011

第6回市民スポーツ大会

第20回 十日町市民水泳競技大会結果

7月25日(日)、田沢小学校プールで行われた市民水泳競技大会の結果をお知らせします。

(各種目1位の選手、敬称略)

クラス・種目	自由形	平泳ぎ	背泳ぎ	バタフライ	
小4男子	25m 北野 智也 (吉田小)	北野 智也 (吉田小)	春日 駿 (吉田小)	福崎 広大 (川治小)	
小4女子	25m 山口ひかり (橋小)	村山 遥香 (田沢小)	岡田 琴音 (中条小)	小川 唯 (十日町小)	
小5男子	25m 栗林 尚矢 (鏡島小)	小林 史明 (川治小)	小杉 淳也 (下条小)	山岸 佑音 (中条小)	
	50m 中嶋竜之介 (吉田小)	小林 史明 (川治小)	佐藤 翔 (十日町小)	中嶋竜之介 (吉田小)	
小5女子	25m 高田 愛 (東小)	丸山 真波 (川治小)	山田 花連 (川治小)	保坂 未歩 (水沢小)	
	50m 浜野 愛美 (吉田小)	浜野 愛美 (吉田小)	大口 晶蘭 (田沢小)	滋野すみれ (橋小)	
小6男子	25m 小口 紋炉 (松之山小)	内山 恭祐 (松之山小)	丸山 大輔 (下条小)	内山 恭祐 (松之山小)	
	50m 星名 洋輝 (千手小)	星名 洋輝 (千手小)	丸山 大輔 (下条小)	太島 綾志 (十日町小)	
小6女子	25m 涌井 華香 (鏡島小)	蕪木陽菜多 (西小)	佐野沙也加 (西小)	星野日菜子 (下条小)	
	50m 児玉 美紅 (吉田小)	服部 智子 (川治小)	星野日菜子 (下条小)	五十嵐奈央 (東小)	
中学・高校男子	50m —	—	—	小川 慧 (十日町中)	
中学・高校女子	50m 小海 詩織 (十日町高)	—	小海 詩織 (十日町高)	山田 珠雅 (南中)	
一般	45歳未満男子	25m 佐藤 心護	—	須藤 一毅	
		50m —	佐藤 心護	—	
	45歳未満女子	25m —	—	—	—
		50m —	—	俵山百合子	—
45歳以上男子	25m —	庭野 篤	—	—	
45歳以上女子	25m 山崎 のり	福原陽出美	—	福原陽出美	
リレー	小4以下混合	100m 吉田レッド			
	小5・6年混合	100m 下条DJTHチーム			

行政改革推進委員会委員を公募します

●募集期間：8月27日(金)～9月10日(金)

本年度、市では今後の行政改革の基本的方針となる「行政改革大綱」を策定します。大綱の素案は、行政改革推進委員会という組織に諮問されたうえで決定されます。この推進委員会の市民委員を公募します。

■応募資格：次のすべてに該当する人

- ①市内に住所を有する成人
- ②平日の日中または夜間の会議に出席できる人 (23年3月までに5回程度の開催を予定)

■募集人数：若干名

■応募方法：総務課または各支所地域振興課に用意してある応募用紙に住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、職業を記載し、「私が望む市役所改革」をテーマにした400字程度の作文 (様式自由) を添付して下記に提出してください。なお、選考結果はすべての応募者にお知らせします。

■申込み・問合せ：総務課市役所改革推進係 ☎757-9787

起業のチャンス!

十日町市新商品等開発支援事業 2次募集のお知らせ

新商品の開発に向けた、企業や個人の新しい技術やアイデアの提案を支援します。気軽にご相談ください。

◆補助対象事業 (補助率2分の1)

- ①製作部門：試作品の製作
補助対象経費50万円以上、補助限度額100万円
 - ②企画部門：既存商品などの付加価値を高めるためのデザイン、販売・サービス方法などの企画
補助対象経費20万円以上、補助限度額20万円
 - ③アイデア部門：起業を視野に入れた商品開発に向けたアイデアを具体化するための取り組み
補助対象経費5万円以上、補助限度額10万円
 - ④起業準備部門：③の取り組みで事業採択された人による起業準備 (設備投資のみ)
補助限度額20万円※事業採択の翌年度に限る
- ※①～③については、審査会 (プレゼンテーション) を開催して採択の可否を決定します

◆申込み・問合せ：

9月30日(木)までに産業振興課雇用開発係 ☎757-3139



市では、公共交通が整備されていない集落 (交通空白地) の解消や高齢者などの移動手段の確保を図るために、社会実験バスの運行を計画しています。運行に必要な手続きを経て、遅くとも10月1日 (金) から運行開始の予定です。今回の社会実験バス運行は、昨年度の結果を踏まえ、本格運行に向けた有償化や事前予約による運行を一部地域で導入するものです。運行内容の詳細は9月10日号の市報でお知らせします。

◆問合せ 企画政策課企画政策係 ☎757-3193

交通空白地解消社会実験 社会実験バスの運行を開始します

運行地域	運行日	運賃	予約がある際に運行する集落
十日町赤倉・津池～市役所	月・水・木曜日	1回200円	—
当間・楸柄沢～水沢公民館	火・水・金曜日	無料	中在家上段、大石上段、当間上段、池沢、南雲
鉢～中手・中平～名ヶ山	月・木曜日	無料	—
二ツ屋～船坂・塩ノ又	火・金曜日	無料	船坂

十日町の働く現場を紹介します。

■問合せ 産業振興課 ☎757-3139

新潟県南部青果株式会社

～十日町市の台所とも言える卸売市場内で、野菜や果物などの青果物を集荷、販売しています。市民の食の安全や、新鮮で安定的な食材の供給に努めています。朝には市場内でセリが行われ、にぎやかさと活気がみなぎっています～

昭和26年に創立。市場での取り扱い主要品目は100種類程度で、うち野菜が6割、果物4割の比率となっています。主な仕入れ先は新潟市の中央卸売市場で、野菜の2割程度は地元から仕入れています。地元農家（登録数約300人）が直接、野菜や山菜を市場に持ち込み、セリにかけて販売しています。



セリは平日（水曜日の一部を除く）の朝7時30分から始まり、セリ人が買受人約60人を相手に、気合いの入った掛け声で野菜や果物の卸値を次々に決定していきます。そしてセリの後には、当事者間同士で価格や数量を決める相対売買が行われ、市場の青果物は売れ残りが出ないのが特徴です。



市場では、許可を受けた買受人しか青果品を仕入れることができませんが、地元で採れた野菜や山菜を市場に出すことはどなたでも可能で、常時募集しています。1箱からでも受け入れていて、地元産の食材を幅広く取り扱う地産地消にも力を入れています。今後も安定した価格と新鮮さで、健康で豊かな食生活を提供していきます。

市場では、許可を受けた買受人しか青果品を仕入れることができませんが、地元で採れた野菜や山菜を市場に出すことはどなたでも可能で、常時募集しています。1箱からでも受け入れていて、地元産の食材を幅広く取り扱う地産地消にも力を入れています。今後も安定した価格と新鮮さで、健康で豊かな食生活を提供していきます。

～園芸・水稲用の培養土や堆肥、有機肥料の専門メーカーです。生産農家や一般家庭向けなどさまざまなニーズに合わせた土づくりを行い、もみ殻などの有機資源を有効活用することで循環型社会の実現に貢献しています～

**株式会社
ホーネンアグリ 中里工場**



培養土の需要が伸び、本社の長岡工場だけでは手狭になったことで、平成5年に中里工場を建設しました。培養土は、赤土粒状土や有機資源などを自社生産、配合し、徹底した品質管理のもとで生産されています。農家用や一般家庭用などおよそ100種類の商品販売を行い、北は北海道、南は九州のJAや種苗会社、農業法人などに配送しています。中里工場では、1日に約3,500袋（1袋20kg入り）を生産していて、一般家庭用の培養土は個人でも会社のホームページから簡単に購入することができます。

昔、土づくりは農家自ら行うことが当たり前の時代でしたが、今では、使用する土の重要性や奥深さが認知され、研究開発された培養土を使用するのが主流となりました。「ホーネンアグリ」という社名は「豊年満作+農業」が由来となっていて、「豊かな土をつくる」という経営理念が込められています。これからも末長く、地域に根差した経営で、消費者が求める新しい培養土の研究開発を行い、日本の農業を支える企業として発展していきます。



新潟県南部青果 株式会社

代表者：代表取締役社長 萱森 喜八郎
 所在地：十日町市高山745
 連絡先：☎757-1185
 従業員数：14人
 事業内容：野菜や果物の集荷・販売
 採用募集：1人
 理念/方針：社魂＝相互信頼
 不撓不屈
 社訓＝親和、公正
 奉仕



株式会社 ホーネンアグリ 中里工場

代表者：代表取締役社長 小林 民雄
 所在地：十日町市芋川乙3281-1
 連絡先：☎763-4555
 URL：http://www.honenagri.com/
 従業員数：40人（本社などほかの工場含む）
 事業内容：有機資源を活用した培養土の製造・販売
 採用募集：2人（意欲のある人）
 理念/方針：土づくり、環境づくり、健康づくりで社会に貢献



一米粉のレシピ集ー
コメを食べよう!! ①

●問合せ 産業観光企画課 ☎757-3691

産業観光企画課では、平成21年度に学校法人北陸学園と市内の加工グループとの協働で、「あんぼ」を基本に米粉料理のレシピを開発しました。毎月、市報の25日号でレシピを紹介し、家庭で気軽に米粉料理に挑戦してみませんか。市ホームページにも掲載しています。

あんぼの皮のアレンジ
 ～さつまいも入り～

◆材料（皮1個40g×8個分）

- ・米 粉…115g
- ・さつまいも（蒸して裏ごしたもの）…115g
- ・トレハロース…18g
- ・熱 湯…92cc



◆作り方

- ①さつまいもは皮をむき、みょうばん水につけてあくを取る。水で洗い、蒸し器で蒸して裏ごす。
- ②ボウルに米粉とトレハロースを混ぜ合わせ、熱湯を加えて良く練る。裏ごしたさつまいもを加え、さらに練り合わせる。
- ③ラップに包み、3分くらい休ませる。
- ④休ませた生地を8分割し、好きな具材（大根菜の油炒め、あんこなど）を包み、蒸し器で15分くらい蒸す。蒸したものをフライパンできつね色に両面焼く（油は引かない）。

!! **星空散歩**
 ……プ…ラ…ネ…タ…リ…ウ…ム…
 ドーム中里
きららからの便り ⑤

★問合せ 中里公民館 ☎763-2493

※きららの番組情報は18ページに掲載

★旧暦8月15日（今年は9月22日休）はお月見です。この日の月は、「十五夜」「中秋の名月」「芋名月」などと呼ばれています。夏の作物の収穫もほとんど終わり、稲刈りをするまでの手の空いたときに、稲の豊作を祈る祭りを行ったことがお月見の始まりとされていますが、正確な起源は分かっていません。

「中秋の名月」は「仲秋の名月」と書かれることもあります。中秋は旧暦8月を指しますが、仲秋は旧暦7月～9月を秋としていて、7月を孟秋、8月を仲秋、9月を季秋と呼んでいました。ですから、旧暦8月15日に出る月を表すには「中秋の名月」を使った方が良いでしょう。中秋の名月は、必ずしも満月ではありません。今年も翌日の23日（秋分の日）が満月です。月の満ち欠けは約29.53日。旧暦ではひと月が29日（小の月）または30日（大の月）で、さらに何年かに一度うるう月を入れるので、15日が満月にならない場合が出てくるのです。

★満月は、月と太陽が地球を挟んで180度になった状態を「望」ということから、「望月」とも言われます。また、「3×5=15」からくる言葉遊びから、「三五の月」とも呼ばれます。満月の翌日は、満月より月の出が遅れ、月が出るのをためらっているように見えることから、「十六夜（不知夜）月」。満月の二日後は、まだかまだかと立ったまま月の出を待っていることから、「立待月」。このほかにも、月の呼び名はまだあります。興味のある人は、呼び名やその由来などを調べてみてください。



夏本番、パターゴルフで真剣勝負！

7月17日(出)、ナカゴグリーンパークパターゴルフ場で、第6回十日町市長杯パターゴルフ大会が開催されました。当日は68人が出場し、梅雨明けした夏空のもと、熱戦が繰り広げられました。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)

【男性の部】

- ◆優勝：田村正義 ◆準優勝：小宮山省三
- ◆第3位：楯澤政二

【女性の部】

- ◆優勝：村山イクヨ ◆準優勝：佐藤幸子
- ◆第3位：渡辺サチ子



芝目を読んで、パッティング！

豊富なベリーがお出迎え『ベリースプーン』へいらっしゃい！

今年も8月1日(日)～31日(火)までの1か月間、『越後妻有 大地の祭り2010夏』が開催されています。期間中は、ナカゴグリーンパーク内『ベリースプーン』でも、ミックスベリージャムづくりワークショップを毎日開催しています。また、無農薬栽培の自家製ベリージュースやシフォンケーキを味わうことができます。ぜひ、家族連れで立ち寄ってみませんか。

■問合せ

ベリースプーンかわにし・南雲
☎090-1033-2994



おいしいスイーツを召し上がれ

かわにし新聞

川西支所
☎768-3111



小舞では「貝づくし」、狂言は「磁石」と「吹取」の2幕が上演されました。「磁石」は、田舎者が京に行く途中、すっぱ(いたずら者)に言葉巧みに常宿に連れ込まれる。この宿の主人は実は人買いで、すっぱから田舎者を買う約束をする。この話を盗み聞きした田舎者は先回りして金を受け取り逃げ去る。という話。「吹取」は、清水の観世音から月夜に五条の橋で笛を吹けば、妻を授けると告げられた男は、笛が吹けないので知人に笛を吹いてもらう。という話。万作さんたちの絶妙なしぐさや掛け合いに会場からは笑い声が上がリ、県内外から訪れた約400人の観客は厳かな雰囲気の中での笑いをたん能していました。

人間国宝の至芸をたん能 「笑いの祭典」開催される

8月3日(火)、松之山体育館で、野村万作さん・萬齋さんをはじめとする万作の会による「笑いの祭典」が開催されました。今年も、松之山地域振興会が主催し、2年ぶりの開催。当日は大雨洪水警報が発表され、

観客・出演者の安全などを考慮し、屋外から体育館に会場を移して行われました。

湯コー米マイ心ハート まつどのやま

松之山支所
☎596-3131



千客万来！来て見て、乗合へ！

『かわにし』という共通の地名を持つ、兵庫県川西市、山形県川西町、奈良県川西市、そして十日町市(旧川西市)は、行政や産業振興の面で、さまざまな交流を行っています。『全国かわにし商工サミット』もその一つ。各商工会が連携し、4市町の経済・産業の活性化を図っています。

川西の特産品が一堂に会す おらぶこのうんめえもん、食ってくんねえかの！

今回、その交流から川西の特産品を販売するアンテナショップ『来個かわにし』が、兵庫県川西市の阪急川西能勢口駅商業施設『バルフロラかわにし』内へ

■問合せ
十日町市川西商工会
☎768-21176

上布川地域で「盆踊りを思い出す会」開催

8月7日(出)、布川防雪管理センターを会場に「盆踊りを思い出す会」が開催され、約80人が少し早めの盆踊りを楽しみました。この地域では20年くらい前から盆踊り行事が途絶えていて、同地区を担当する地域おこし協力隊の呼びかけで、この思い出す会を開催。カラス踊りや湯山甚句などが歌われると、浴衣を着た住民がやぐらの周りで踊りの輪を作りました。地区協議会長の樋口一次さんは、「来年度以降この盆踊りが復活するか分かりませんが、今後地域の皆さんと話し合いをしていきたい」と話していました。



信越トレイルにチャレンジ



長野県との県境に連なる関田山脈の尾根を伝う信越トレイル。軽くトレッキングできるコースをガイド付きでご案内します。

- ◆日時：9月12日(日) 午前8時30分～午後1時30分(小雨決行)
- ◆コース：深坂峠～天水山(約5.7km) ※大巖寺高原集合
- ◆参加費：2,000円(昼食・温泉付)
- ◆募集人数：先着20人(要予約)
- ◆申込み・問合せ：市観光協会松之山支部 ☎596-3011

きらめき 青春 17

川西中学校 卓球部

「精神 気魄」の旗のもと、「お願いします」「ありがとうございました」のあいさつが、さわやかに体育館に響きます。20人の部員が猛暑をものともせず、毎日練習に励んでいます。「伝統を創る」というメインスローガンを掲げ、すでに多くの実績を持つ川西中学校卓球部の目標は、「北信越大会出場」。今年は県大会でベスト4入りを果たし、目標に限りなく近づきました。



小川陽平部長——今年の卓球部はチームワークが良いと思います。県大会でも、部員同士の応援でベスト4に入ることができました。平日は夜も練習し、一週間に6日、夏休み中も同じペースで部活動があり、練習量はどの部にも負けないと思います。この努力とチームワークで、来年こそ目標の北信越大会出場をつかんでほしいです。

楽原裕先生——指導者や先輩、練習場所に恵まれ、部員はコツコツと真面目に練習しています。声も出るようになってきました。大切なのは基本をしっかりやること、あいさつ、礼儀、感謝の心です。「支えてくれる人たちがいて今の自分がある」という気持ちで頑張れば、目標を実現できると思います。



室野洞泉寺境内

楽しもうスポーツ つくろう健康

スポーツ振興課 ☎ 752-4377

第1回市民ラジオ体操
7,444人参加

8月4日(水)、市内全域245会場で市体育協会初企画の「第1回市民ラジオ体操」が開催されました。

第1回目ということで目標にはほど遠い参加人数でしたが、これは第一歩と考えています。地域によっては、小学生がいなくても地域の皆さんの協力で、集会所や集落センターなどで行われた会場もありました。

来年度以降はもっと市民の皆さんが参加しやすいように考えていきたいと思います。各地域でお手伝いをしてくれた皆さん、ありがとうございました。



街中ウォーク 目指せ地球一周40,000km
8月7日現在の歩行距離 11,883km

おい！！昔

〈六十二〉

「新保観音」の巻 (新宮)

今からずーっと昔のこと。水沢の新保(現新宮)に仲の良い市助夫婦が住んでいました。夫婦は子宝には恵まれませんでした。

「どうか観音さまをお守りください」と言い残して亡くなりました。

市助夫婦が一心に観音さまをおまつりしていると、ある晩、観音さまが夢枕に立ち、「信心深さに感じ、男の子を授ける」と告げま

広がりました。市助の家にも燃え移りそうになったそのとき、どこからともなく白髪の老僧が現れ、火中に飛び込んで袈裟を振り回してあつという間に火を消し止め、姿を消しました。市助が家に入って観音さまを拝むと、衣のすそが焼け焦げています。「あー、あれは観音さまだったんだー」。村人は村の中に小さなお堂を建て、観音さまをまつって信心を深めました。



まだ雪深い3月のある日、市助は新保の渡し場に行きました。すると、夫婦連れの旅人が倒れていました。夫は間もなく息を引き取り、妻は市助たちの手厚い介抱によって一命を取り留めました。夫婦は備中岡山の出身で、死んだ子の供養のために観音像を背負って諸国巡礼を続けていました。新保の渡しにさしかかったとき、季節外れの吹雪に見舞われて、寒さとひもじさのために倒れてしまったのです。

した。間もなく妻は身ごもり、元気な男の子が生まれました。二人の喜びはひとしおで、ますます観音さまへの信心を深めました。

ある日照りの夏、村で火災がおきて、一気に村中に

派なお堂を建て、観音さまを安置しました。これが新保観音の由来です。

昭和の十日町 No.17

～山内写真館の世界～
演劇活動の高まり

- 撮影時期：昭和34年ころ
- 撮影場所：十日町高校東校

昭和20、30年代にかけて、市民による近代演劇の活動が盛んになりました。昭和30年11月には、7つの劇団による第1回合同演劇祭が開催されて大成功を収め、第7回まで続けられました。写真は、劇団演劇人による「稲葉小僧」の舞台です。

● 問合せ：情報館 ☎ 750-5100





平和への願いを未来永劫に 原水爆禁止市民大会

8月6日(金)、キナーレで原水爆禁止十日町市協議会主催による第56回原水爆禁止十日町市民大会が、約280人の市民の参加のもと開催されました。式典では、平成21年度広島市派遣生徒代表の林龍太郎さん、福島麻衣さん、吉楽拓真さん(いずれも十日町高1年)が、「たくさんの方が亡くなった原爆の日のことを決して忘れてはいけません。広島で原爆の体験談を直接聞きました。原爆の怖さ、戦争のむごさを家族や友人などたくさんの人に伝えていくことが、これからの平和にとって大切です」と感想を述べました。参加者は広島への原爆投下時刻に黙とうを行い、原爆ゆるすまじを斉唱し、平和への思いを新たにしました。

tokamachi topics

食と温泉とノルディックウォーキング
 8月1日(日)、松之山温泉周辺で「第1回湯の里ノルディックウォーキングin松之山」が開催されました。これはノルディックウォーキングの普及と啓発を兼ねて6kmを歩き、併せて松之山温泉とマクロビスイーツを楽しんでもらおうという企画です。32人の参加者は、自然豊かな森林セラピーを満喫しながら、心地よい汗をかきました。次回のウォーキングは10月30日(日)に開催します。



空き店舗を活用して商店街を活性化

8月1日(日)、高田町1丁目商店街で空き店舗を活用してベーカリー店「コモコモ」とパソコン出張サポート店「ブースコモ」が開店しました。これは空き店舗を減らして商店街を活性化させようと、高田町1丁目商店街振興組合が県の空き店舗活用地域活性化事業の補助を受けて、店舗を借り上げて開設したものです。ベーカリー店では、ヨーロッパを中心に輸入したパンをその場で焼いて提供し、パソコン出張サポート店では、自宅に訪問してパソコンの操作を支援します。商店街振興組合の三輪満雄理事長は、「空き店舗を減らすことが目的です。将来的に自立して経営してもらうためにも、皆さんから利用してもらいたい」と話しました。



まちの話題
 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課広報広聴係(☎757-3112)へ、気軽にお寄せください。

tokamachi topics



東京農大生が地元農家で農業研修

8月5日(木)~12日(木)の8日間、東京農業大学国際農業開発学科の3年生6人が、結いの里・仙田地区・浦田地区・飛渡地区の農家に分かれて滞在し、農業実習を行いました。結いの里で研修中の伊藤誠弥さんは、「机の上だけでなく、体で農業を体験したい」と話し、安光正佳さんは、「農作業だけでなく、農家の人や仲間とのふれあいも貴重。体験を後輩に伝えたい」と話しました。研修は今年で3年目を迎え、今後も継続予定です。十日町市で農業体験をした学生の将来が期待されます。



元祖真夏の雪祭り開催
 8月14日(日)、松之山の大蔵寺高原で第24回元祖真夏の雪まつりが開催され、お盆の帰省客や地元住民など約1,500人が会場を訪れました。雪で作った特設ステージでは、よさこいソーランがオーブニングを飾り、恒例のはだして行うパン食い競争や綱引きなどの雪上ゲームに多くの家族連れが参加。冷たい雪を必死にこらえながら、豪華賞品を目指して熱戦が繰り広げられました。



コモ市から交換留学生来市
 姉妹都市イタリア・コモ市から、アンジェリカ・ボンテツジャさん(18歳)とピエトロ・スカッキさん(20歳)が来市。昨年12月、コモ市に交換留学した井ノ川優子さん(18歳)と岡村千広さん(23歳)宅にそれぞれホームステイし、7月25日(日)から8月7日(日)までの2週間、日本の文化や生活を体験しました。2人は、「十日町が大好きです」と語り、思い出を胸に帰国しました。

松代の野菜はいかがですか！ 世田谷区民まつり

7月31日(土)・8月1日(日)の2日間、東京都世田谷区で「世田谷ふるさと区民まつり」が開催され、松代地域から約40人が参加しました。世田谷区と交流している全国の自治体による「ふるさと物産展」では、ナスやキュウリ、トマトなどの新鮮な朝採り野菜や特産品を販売。並べる前から品定めを始めるお客さんもいて、山積みの野菜がすぐに売り切れるほどの大盛況でした。また、ステージでは松茸太鼓を披露し、会場の注目を集めました。松代と世田谷区の交流は、今年で20周年になります。





お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

新潟県スポーツフェスティバル中越地区大会

開催日、会場など詳細は問い合わせください。●期間 9月5日(日)～11月28日(日) ●会場 中越管内各地 ●種目 ソフトバレーボール・女子ソフト

日	時	テーマ
5日(日)・12日(日)・19日(日)・20日(祝)・23日(祝)・26日(日)午後1時30分～3時		里山の生き物探検
4日(土) 午前9時30分～正午		チョウ調査 (無料)
18日(土) ※松之山温泉「地炉」 集合午後1時30分～5時		花ごよみ調査 (無料)
25日(土) 午前5時30分～8時30分		探鳥会 (無料)

※小学3年生以下は保護者の同伴が必要です ●参加費：大人1,000円、小・中・高生600円 (入館・入山料込み) ※市内小・中学生は入館料無料のため参加費300円 ●集合場所・問合せ キョロ口 ☎595-8311

消費者力アップ講座

秋のブナ林を散策して環境について学びます。昼食は郷土料理を楽しみます。●日時 9月24日(金)午前9時～午後2時 ※市役所からバスが出ます ●会場 「森の学校」キョ

「森の学校」キョロ 9月の里山体験プログラム

トイレ、シャワー室が新しくなりました。随時見学受付中。詳しくは問い合わせください。【9月体験教室】 ●期間 9月2日(休)～30日(休) ●受講料 5,000円 【脂肪燃焼教室】 ●期間 9月～11月の日曜日 (10月31日を除く全12回) ●受講料 1回1,000円、回数無制限10,000円 【朝ヨガ体験教室】 ●期間 9月4日(土)～10月23日(土)の毎週土曜日 (全8回) ●受講料 1回1,000円、回数無制限5,000円 ●申込み・問合せ 十日町体力づくり支援センター ☎758-3343

【社認知症の人と家族の会 新潟県支部妻有地区 介護者の交流会】 温泉やおしゃべりでストレスを解消しましょう。介護のヒントが見つかるかもしれま

トボール・ラージボール卓球・ターゲットバードゴルフ・年齢別ソフトテニス・年齢別バドミントン・インディアアカ・女子バレーボール・ワンバウンドバレーボール・ユニバーサルホッケー・ラケットテニス・壮年野球・スポレック ※種目ごとに申込み締切りが異なりますので注意してください ●申込み・問合せ 市総合体育館 ☎752-4377

第20回新潟県パターゴルフチャンピオン大会

●日時 9月12日(日)午前7時～30分 ●会場 ナカゴグリパーク ●参加費 2,500円 ●定員 先着80人 ●申込み・問合せ 9月6日(月)までに参加費を添えてサンパレスナカゴ ☎768-4419

浴衣で演奏 夕涼みコンサート

十日町ジュニウインドアンサンブルの演奏会です。●日時 8月28日(土)午後6時 ●会場 キナレ ●曲目 「Y.M.C.A」ほか ●入場料 無料 ●問合せ 片桐 ☎757-9980

平成園演芸のついで

来々年4月に開設20周年を迎える平成園で演芸を楽しみま

ロロ・美人林 ●受講料 1,000円 (入館料、昼食代込み) ●定員 先着25人 ●申込み・問合せ 9月10日(金)までに市民生活課交通生活係 ☎757-3740

ドーム中里きさらら 9月のプラネタリウム

9月18日(土)に星空観察会を行います。詳細は9月10日号でお知らせします。●投影日時 9月5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日)午前11時～(約40分間) ●内容 「9月の星空」(定期番組)、「お月様のおはなし」(企画番組) ●入場料 大人200円、中学生以下100円 ●問合せ 中里公民館 ☎763-2493

郡市発明工夫模型展・生物標本展

郡市内の小・中学生による、発明工夫作品・模型作品・動植物などの標本作品を展示します。●日時 9月11日(土)～13日(月)午前9時30分～午後5時 (13日は正午まで) ●会場 クロス10 ●入場料 無料 ●問合せ 理科教育センター

せんか。●日時 9月12日(日)午前10時～午後4時 ※送迎希望は対応可 ●参加費 60歳以上300円、60歳未満400円、高校生以下無料 ●会場 問合せ 平成園 ☎758-3924

健康倶楽部十日町 ふれあい祭り

●日時 9月4日(土)午後6時～8時 ●内容 地域の皆さんによる催し物、とん汁のふるまい、屋台出店、作品展示 ●会場 問合せ 健康倶楽部十日町 ☎752-7295

第3回十日町愛石会 水石展

お楽しみ即売コーナーもあります。●会期 9月18日(土)・19日(日)午前10時～午後6時 (19日は午後5時まで) ●会場 クロス10 ●問合せ 大海 ☎757-3866

十日町おやこ劇場 『こまのおっちゃん』 『こまのサーカス』

●日時・会場 ①9月11日(土)午後6時～ 千手中央コミュニティ

奇祭 小白倉もみじ引き

●日時 9月5日(日)午前10時 ●会場 小白倉集落 ●問合せ 市観光協会川西支部 ☎768-4951

千手神社秋季大祭

●期日 9月4日(土)・5日(日) ●会場 千手神社境内 [奉納花火大会] ●日時 9月4日(土)午後7時30分 ●打上場所 唐塚野球場付近 ●問合せ 市観光協会川西支部 ☎768-4951

キナレ体験工房館 9月・10月の着付け教室

●日時 9月・10月の毎週木曜日午後1時30分～3時30分 ●受講料 1回500円 ※着物一式持参(有料貸出あり) ●定員 10人 (当日受付可) ●会場 申込み・問合せ キナレ ☎752-0117

第3回楽楽会

介護の悩みなど専門家を交えて話し合い、同じ悩みを抱えている人といっしょに理解

ニテイセンター ②9月12日(日)午後2時～ 十日町小学校東体育館 ●参加費 1家族1,000円 (1人の場合は800円) ●問合せ おやこ劇場事務局 (加賀書院内) ☎752-2114

ハートフル・コンサート

東京都で活動しているMCG男性合唱団と地元の合唱団3団体が、懐かしい童謡や叙情歌などを歌います。●日時 8月28日(土)午後2時 (開場1時30分) ●会場 千手中央コミュニティセンター ●曲目 「箱根八里」「早春賦」ほか ●入場料 500円 ●問合せ がちょうの会 ☎090-5523-8595

募集

ほくほく線元気まつり ボランティアスタッフ募集 よさこいと松代のそばを楽しむ祭りで。当日のスタッフを募集します。●日時 10月10日(日)午前8時～午後5時

夏物だんだんダウンセール!!

店頭価格より

8/26(木)～28(土)	60%OFF
8/29(日)	70%OFF
8/30(月)	80%OFF

※詳しくは店頭まで

対象商品が 60~80%OFFの だんだんセール

その他全商品 2割引

※学校指定品、おまつり用品、特価品除く

ヤナシヨウ 高田町1丁目(コモ通り) ☎757-2440(代)

を深めてリフレッシュしませんか。●日時 9月18日(土)午後6時30分～8時 ※事前相談により送迎可 ●参加費 無料 ●テーマ 「家族でできる応急法」 ●会場 申込み・問合せ 老人デイサービスセンター やまびこ ☎750-1515

売上倍増戦略セミナー

●日時 9月22日(水)午後6時 ●入場料 無料 ●内容 講演「一瞬の出会い」 齋藤泉さん (株)日本レストランエンタ

世界的建築家 安藤忠雄氏設計!

森のホール・水辺のホール

あてま 森と水辺の教室

ポポラ

9/18(土) 15:00~17:00

安藤忠雄 講演会開催

講演:「自然とともに生きる」

会場:あてま森と水辺の教室ポポラ「水辺のホール」(当間高原リゾート内)

入場自由(無料)

※ご来場のお客様が多数の場合、人数を制限させていただきます。お問合せ:あてま森と水辺の教室ポポラ TEL:025-758-4811

●会場はくぼく線まつだ
 駅、松代本町通り●資格は高
 校生以上の健康な人●業務内
 容①よさこいチームの受付
 ②よさこいチームの招集・誘
 導③給水所の運営④会場・駐
 車場の整理※休憩・昼食あり
 ●申込み・問合せは9月15日
 (水)までに松代公民館(☎59
 7-2301)

**訪問介護員養成研修
 2級課程受講者募集**

詳しくは問い合わせしてくだ
 さい。●対象は市内在住の60
 歳以下の人で、すべての課程
 を受講でき、会場まで通学可
 能な人●定員は30人※応募多
 数の場合は抽選●会場はあ
 とふる川西及び市内福祉施設
 ●受講料は40,000円●
 申込み期間は9月10日(金)～20
 日(敬老の日)午前9時～
 午後5時●申込み・問合せは
 十日町市社会福祉協議会本所
 (☎750-5010)

コモ市フォトコンテスト

コモ市のチエルノオツピオ
 写真クラブ主催のコンテスト
 です。●応募規定①テーマ

は自由②未発表の作品(プロ・
 アマ不問)③電子データ形式
 (JPEG)の写真ファイル
 をCDにコピーしたものと作
 品をプリントしたもの添付
 ④1人4点以内⑤著作権は主催
 者に帰属●応募方法住所・
 氏名・電話番号・題名を明記
 した用紙を作品に添付し、持
 参または郵送●申込み・問合
 せは9月17日(金)(必着)まで
 に十日町・コモ姉妹都市交流
 協会(商工会議所内☎757
 -5111)

**にいがた発「R10プロジェクト」
 学生米粉料理コンテスト**

県では、米粉の特徴を生か
 した米粉料理を募集します。
 優秀作品はレストランでメニ
 ュー化される予定です。詳し
 くは問い合わせください。
 ●応募資格県内在住の高校
 生・専門学校生・大学生で、
 書類審査で選考された場合、
 実演審査会(10月30日(土))に
 必ず参加できる人●募集内容
 ①米粉の特色を生かしたレ
 シピ②米粉は新潟県産米を原
 料とし、小麦粉などを混ぜて
 も可③4人分2,000円以

内で品数は自由●応募方法
 県ホームページ「米粉のお部
 屋」から応募用紙をダウンロ
 ードし、完成品の写真を添付
 して応募●申込み・問合せは
 9月30日(木)までに県農林水産
 部食品流通課食品産業係(☎
 025-280-5306)

8月の納税・納付

8月は市・県民税第2期、
 国民健康保険税第5期、後期
 高齢者医療保険料第5期及び
 介護保険料第5期の納付月で
 す。期限(8月31日)内に納
 めましょう。●問合せは税務
 課・市民生活課・福祉課



9月の休館日

●中央公民館 毎週月曜日
 ●千手中央コミュニティセン
 ター 毎週火曜日
 ●博物館 6日(月)・13日(月)・

きるだけ控えましょう。●問
 合せは農林課農業企画係(☎
 757-3120)

**十日町駅地下道に
 作品を展示しています**

十日町駅地下道「市民のい
 こいの広場」に市内の小・中
 学校児童・生徒の絵画や版画
 などを展示しています。9月
 は、南中学校区の児童・生徒
 の作品を展示します。ぜひご
 覧ください。●問合せは中央
 公民館(☎757-5011)

**臨床心理士による
 こころの相談会**

思春期や働き盛りの年代
 で、人間関係に悩んでいる人、
 不眠や気分の落ち込みなどあ
 る人は相談してみませんか。

心理的な問題を取り扱う専門
 家である臨床心理士に、無料
 で相談できます。事前に予約
 が必要です。●日時は9月8
 日(水)午後1時～3時●会場は
 十日町保健センター●相談員
 は内藤千恵さん(在宅臨床心
 理士)●申込み・問合せは健
 康支援課成人保健係(☎75
 7-9764)

**米トレサビリティ法
 が施行されます**

10月から、米トレサビ
 リティ法の対象品目となる
 米(玄米、精米、粉砕米な
 ど)・米加工品(米飯類、米
 粉、もちなど)の仕入れ・販
 売などを行う事業者は、その
 記録を原則3年間保存するこ
 とが義務化されます。対象事

業者は、米飯類提供事業者
 や米・米加工品の製造事業
 者、販売事業者などで、対象
 品目を取り扱うすべての事
 業者が該当します。詳しく
 は農林水産省ホームページ
 (http://www.maff.go.jp/j/
 soushoku/keikaku/kome-
 toresa/index.html)で確認し
 てください。●問合せは北陸
 農政局新潟農政事務所(☎0
 25-792-8211)

**福祉住環境コーディネーター
 検定試験(2級・3級)**

●試験日 11月28日(日)●申込
 み期間 9月14日(火)～10月
 15日(金)●申込み・問合せは申
 込みに期間内に、十日町商工会
 議所配置の受験要項により直
 接、東京商工会議所検定セン

ター(☎03-3989-0
 777)

就職安定資金融資制度の新
 規融資確認申請受付が9月
 30日(木)で終了します。これか
 ら申請する場合は、早めに最
 寄りのハローワークで相談
 し、期日までに申請を行って
 ください。制度の詳細は厚生
 労働省ホームページ(http://
 www.mhlw.go.jp/bunya/
 koyou/safety_net/60.html)
 で確認してください。●問合
 せは新潟労働局職業対策課
 (☎025-234-592
 7)またはハローワーク十日
 町(☎757-2407)

**就職安定資金融資制度
 新規融資確認申請の受付
 がまもなく終了します**

就職安定資金融資制度の新
 規融資確認申請受付が9月
 30日(木)で終了します。これか
 ら申請する場合は、早めに最
 寄りのハローワークで相談
 し、期日までに申請を行って
 ください。制度の詳細は厚生
 労働省ホームページ(http://
 www.mhlw.go.jp/bunya/
 koyou/safety_net/60.html)
 で確認してください。●問合
 せは新潟労働局職業対策課
 (☎025-234-592
 7)またはハローワーク十日
 町(☎757-2407)

～下水道 水から聞こえる「ありがとう」～ **9月10日は「下水道の日」です**

下水道の日は、1961年に日本の下水道の普及率を向上させようと始まりました。
 下水道法では、「公共下水道の使用が開始された場合は、排水区域内の土地の所
 有者・使用者は3年以内に水洗トイレに改造し、下水道へ流入させるための排水設
 備を設置しなければならない」と明記されています。
 市では、くみ取り便所の水洗化とともに、浄化槽を使用している人にも3年以内
 に下水道に接続するようお願いしています。1日も早い下水道への接続をお願いし
 ます。

◆受験講習会 期日：10月27日(水) 会場：長岡新産管理センター
 ◆試験 期日：11月21日(日) 会場：長岡新産管理センター
 ◆申込み 申込み用紙を8月30日(月)～9月10日(金)(土・日曜
 日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に上下
 水道局(西本町3・下水処理センター内)へ提出

◆問合せ：上下水道局 下水道維持係 ☎757-3138



むし歯のないよい歯の子

7月の3歳児健診を受けた子45人
 よい歯の子 住所 保護者

中村 玲奈 (本町6-1)	邦彦
高橋 小梅 (稲荷町2)	重成
櫃間 美音 (稲荷町3本通り)	亮
齋藤 ゆう (稲荷町4)	昇
解良 真優 (稲荷町4)	和朗
宮内 工英 (新座2)	博昭
板場 遥 (南新田町1)	俊樹
田辺 暁資 (南新田町3)	貴雄
田辺 瑛大 (南新田町3)	貴雄
滝沢 美侑 (四日町2)	俊成
関 大嘉 (上原)	広幸
山田 ひより (塚原町)	尚史
大塚 有莉 (美雪町1・2)	亮太
大塚 彩世 (美雪町1・2)	亮太
村山 未希 (美雪町3)	佳行
村山 来望 (美雪町3)	佳行
村山 杏莉 (山本町1)	宏幸
野上 彰太 (高島1)	知幸
水落 瑛太 (高島2)	貴洋
大淵 翔太 (桑原)	大輔
村山 怜雅 (為永)	幸一
村山 空冬 (水口)	健
上村 帆乃 (太田島2)	忠臣
小海 梨空 (新宮1)	雄樹
宮澤 翔 (小黒沢)	信弘
土田 ゆき (上野)	靖雄
上村 咲希 (上野)	浩
押木 菜稀 (元町)	健一
須藤 愛美 (下原)	友由
田村 冬栞 (田沢本村)	亮太
樋口 美桜 (通り山)	勇児
樋口 中 (朴木沢)	誠
山田 陽菜 (東田尻)	貢
栗原 吾鍊 (倉俣)	善雄
鈴木 望斗 (重地)	祥仁
南雲 天 (堀之内)	涉
西潟 優弥 (室野)	宏文

※保護者の承諾を得て掲載しています

●休日救急医

●診療時間：午前8時30分～午後5時
※昼休み時間が医療機関により異なりますので、午後の診療開始時間は問い合わせてください

Table with 4 columns: 期日, 医療機関名, 住所, 電話番号. Lists emergency services for various dates and locations like 池田医院, 田中外科医院, etc.

●乳幼児健診

- ◎会場…十日町保健センター（市役所隣）
◎持ち物…母子健康手帳、問診票、フッ化物歯面塗布希望確認票（1歳6か月児のみ）、視聴覚アンケート（3歳6か月児のみ）、着替えやおむつなど必要なもの
◎健診は体調の良いときに受診してください。欠席や体調が心配な場合は、本庁または各支所へ連絡してください。
◎3歳6か月児健診は事前に検査セットを送ります。届かない人は本庁へ連絡してください。
◎健診終了時間が遅くなることがあります。ゆとりをもって来てください。

Table with 4 columns: 事業名, 期日, 受付時間, 対象児. Lists health checkups for 4-month, 10-month, 1-year, 2-year, and 3-year olds.

●離乳食教室

Table with 3 columns: 事業名, 対象児, 開催日. Lists breastfeeding classes for 2-month and 6-month olds.

●健康相談

Table with 3 columns: 期日, 会場, 受付時間. Lists health consultation sessions at various locations like 吉田公民館, 川西支所, etc.

●乳幼児の健康相談

Table with 3 columns: 期日, 会場, 受付時間. Lists health consultations for infants and toddlers at various locations.

健康相談・休日救急医・離乳食教室・乳幼児健診・乳幼児の健康相談の問合せ
十日町本庁（代表） 川西支所（市民課直通） 中里支所（市民課直通） 松代支所（市民課直通） 松之山支所（市民課直通）
☎757-3111 ☎768-4956 ☎763-3121 ☎597-2221 ☎596-2169

▼市報25日号は、昭和の十日町く山内写真館の世界が掲載されています。市報の編集、皆さんよりちよっぴり早く写真を見ることのできるの実は、ひそかに楽しみにしてまいりました。皆さんのお宅ではどうですか。昭和の暮らし、モノクロの写真も懐かし、こんな風景あつたねと昔タイムスリップしたよな感動があります。9月10日号では、昭和の写真の紹介や写真整理の活動など特集を掲載しますので楽しみにしてください。
▼「十日町のおまつり」の盛り上がり真ん中ですが、五穀豊穣を願って各地域でもお祭りが開催されています。今年は好天に恵まれ作況指数は「やや良」だそうです。丹精込めたお米が豊作にふさわしく、お祭りも盛り上げたいですね。



あつたね
▼暑かった夏も終わり、秋の気配が漂ってきました。小・中学校の夏休みも今週いっぱい終わります。自分からは2学期が始まりますね。自分の子どもが小学生のときは、宿題が終わらず夏休みの後半は大変な思いをしたような気がしますが、夏休みに入った直後に、宿題は早めに終わらせた後、後半はゆっくりしようね、と毎年子どもと話をしたにもかかわらず、いつもバタバタしてしまいました。皆さんのお宅ではどうですか。
▼自分自身の仕事にも同じことが言えます。必ず事務事業には、提出や報告の期限が回りますので、期限間近になってバタバタしないようには気を付けたいですね。



●ちびっこひろば

なかよしランド
●日時 毎週火曜日・25日(土) 午前10時～11時
●会場 市民体育館 ※25日は大運動会
●対象 1歳～就園前のお子さんとその保護者
●問合せ 中央公民館 ☎757-5011

いっしょにあそぼ

●日時 2日(木)・9日(木)・16日(木)・30日(木) 午前10時～11時
●対象 未就園児とその保護者
●会場・問合せ 水沢公民館 ☎758-3101

ぐりぐりルーム

●日時 11日(土) 午前10時～11時
●会場 下条公民館
●対象 乳幼児～小学生
●問合せ 水落 ☎756-2254

おはなしひろば

●日時 11日(土) 午後7時30分～
●対象 園児～小学生
●会場・問合せ 中里公民館 ☎763-2493

おはなしたまたまばこ

●日時 9日(木) 午前10時～11時
●対象 乳幼児とその保護者
●会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

読み聞かせの会「どんぐり」

今回は影絵おたのしみ会です。
●日時 11日(土) 午後2時～3時
●対象 幼児～小学生
●内容 「ハーメルンの笛ふき」「童謡メドレー」ほか
●会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

おはなしぴよぴよ

●日時 4日(土)・18日(土)・25日(土) 午前10時30分～11時
●対象 乳幼児
●会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

おはなしの会「ふきのとう」

今回は人形劇です。
●日時 18日(土) 午前10時～11時
●会場 千手中央コミュニティセンター
●対象 乳幼児～小学3年生
●内容 「泣いた赤おに」「ピーターとモーリー」
●問合せ 保坂 ☎090-7814-9462

十日町おやこ劇場～おはなしてんこもり～

●日時 4日(土) 午前10時30分～11時30分
●対象 どなたでも参加できます
●会場・問合せ 十日町おやこ劇場事務所・加賀書院 ☎752-2114
※加賀文庫の絵本の貸し出しも行っていきます

●心配ごと相談 問合せ 社会福祉協議会 ☎750-5010
会場：社会福祉協議会（本所・支所）
時間：午後1時30分～4時
▽十日町本所 毎週木曜日※23日を除く
▽松代支所 3日(金)
▽松之山支所 14日(火)
▽中里支所 17日(金)
▽川西支所 28日(火)

●こころの健康相談

不眠、不安、意欲の低下などで悩んでいませんか。
本人でも家族でも無料で相談できます。
●日時 14日(火) 午後2時～4時
●会場 工房なかさと
●医師 山下医師（山下メンタルクリニック）
●申込み・問合せ 十日町地域振興局健康福祉部 地域保健課 ☎757-2402

●全血献血

●日時 9月23日(祝)
午前10時～正午、午後1時～3時30分
●会場 リオン・ドール
●問合せ 健康支援課母子保健係 ☎757-9759

●各種相談のお知らせ

- ジョブカフェ（若者のための仕事相談）
おむね30代半ばまでが対象です ※要予約
2日(木)・16日(木) 午前10時～午後3時
会場：本町分庁舎 ☎757-3139
●定例行政相談
毎月第2金曜日 午前10時～正午
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
●行政相談
【川西地域】22日(水) 午後1時～3時
会場：はあとふる川西
【中里地域】18日(土) 午後1時30分～3時30分
会場：中里支所
●法律相談
電話で市民生活課市民年金係へ要予約
毎週木曜日 午後1時30分～4時 ※23日を除く
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
●多重債務相談
電話で市民生活課交通生活係へ要予約
8日(水) 午後1時30分～4時30分
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
●消費者相談
電話で市民生活課交通生活係へ要予約
毎週月曜日 午後1時30分～4時 ※20日を除く
会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
●定例社会保険・年金相談
9日(木)・22日(水)
午前10時～正午、午後1時～3時
会場：クロス10
●教育・少年相談
月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く）
午前9時～午後5時
会場：教育センター（情報館内）
※電話相談（☎756-5010）も行っていきます
●女性相談専用電話
月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時15分 ☎757-3701

熱中 この時 夢中 29

十日町手話サークル
十日町市聴覚障害者福祉協会 手話教室

● 問合せ 金井 正一
☎ 758-3256

手と手でつむぐ楽しい会話の世界

十日町手話サークルは、昭和47年創立。現在24人が在籍し、週1回手話で会話をしながら手話の上達を目指し、聴覚障がい者とのコミュニケーションの手助けをしています。主な活動として、十日町市聴覚障害者福祉協会が市からの委託を受けて開催している「手話教室」に、講師や手話通訳として協力しています。



手話教室で「明日」の予定について手話で話す受講者たち。楽しく手話を学びます。



手話サークルと聴覚障害者福祉協会の皆さんとの交流会。



国際サインの「I love you（愛してる）」。小指がI、親指と人差し指で、親指と小指でUを表すそうです。

手話サークル会長の金井正一さんは、「障がいがあっても、みんな同じ立場で意思疎通ができる社会が理想。公共機関や病院、銀行、福祉、介護施設などには、手話ができる職員が必要だと思います」と話します。聴覚障害者福祉協会の手話教室は4年前から開催していて、現在は入門課程16人・基礎課程12人が週1回中央公民館で手話を学んでいます。協会長で、講師を務める佐藤俊夫さんは、「受講者が楽しそうに取り組んでいるのがうれしい」と語り、自ら聴覚障がいを持ちながらも、ユーモアたっぷりに場を盛り上げて講座を進めます。二人一組の講師が解説と実技を交えつつ、その日のテーマや場面に合った手話を講義。内容は、手話がたんなるサークルメンバーが同時通訳をします。

受講2年目の村山幹夫さんは、「新しい世界でのコミュニケーションはとても新鮮です」と語り、今年4月から手話を始めた金井京子さんは、「手話を介護の現場で生かしたい」と目標を話してくれました。片手で1秒だけで「愛してる」と伝えられる手話。皆さんもその楽しさをいっしょに体験してみませんか。

